



つながり



「南予地区地域学校協働活動推進員等情報交換会」(第2回)

2月20日(木)に「南予地区地域学校協働活動推進員等情報交換会」(今年度2回目)をオンラインで開催しました。

今回は、宇和島市立畑地小学校の先生と地域学校協働活動推進員双方の立場から事例提供していただきました。教員からは、「赴任してきたばかりで地域の方々との面識がないとき、地域学校協働活動推進員が地域の人とつないでくれて大変助かった。」、地域学校協働活動推進員からは、「教頭先生や公民館長、学校運営協議会委員、ボランティアとのコミュニケーションを大切にしている。」「中学校区内の地域学校協働活動推進員同士が交流をすることで、他の推進員の活動を知ったり、相談できたりしている。」という話をしていただきました。

事例発表後は、グループに分かれて情報交換を行いました。活動する中で出てくる悩みに対して、それぞれの解決方法を紹介し、情報交換しました。最後に西村CSマイスターから、「地域学校協働活動推進員の役割の大切さ」と「情報交換や研修の大切さ」の話をしていただきました。

(情報交換会終了後のアンケートの一部です。)

事例提供していただいた先生と推進員さんとのコミュニケーションが取れていると感じました。

前向きな意見交換ができました。

他市町の状況を把握することができてよかったです。

学校と協働活動推進員の連携・協働、コミュニケーションの大切さを改めて学ぶことができました。



私自身コーディネーターも8年になり、1年目や2年目、6年目の方々とお話をさせていただくことは、新たな気付きも多く、勉強になりました。ベテランと呼ばれるようになったけれど、新鮮な気持ちを忘れず、協働活動に取り組んでいきたいです。

制度や今後求められていることの確認になるような研修も受けてみたいです。

同じ立場の方々と、こういうふうに関わりができる場があるのは、頑張れるエネルギーになります。

小学校と中学校、中学校区の小学校との関わりなど、推進員同士のつながりを含め、視野を広げようと思いました。

昨年参加した時は、通信(たより)の必要性を感じましたが、継続が望ましいので、今の私には厳しいです。

参加された方にとって、学びがあり、前向きになる会になったことを大変うれしく思います。本通信の名前は「つながり」です。南予教育事務所としても、地域学校協働活動に関係する方がつながっていけるよう、事業を推進してまいります。

今後も、[地域とともにある学校][学校を核とした地域づくり]に取り組んでいきましょう！